平成３１（２０１９）年度　熊本県立人吉高等学校　定時制　シラバス

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２	開講学年	３年

学習概要 および 学習目標	近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。 ①世界が一体化に向かう過程と日本との関わりについて理解する。 ②地球規模で一体化した構造をもつ現代世界の特質と展開過程を理解する。 ③人類の課題について歴史的観点から考える。

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標	自己評価欄
１学期末 まで (15 時間)	【Ⅰ部】世界の一体化と日本 【２部】地球社会と日本 （１章）現代世界の芽生えと世界大戦 ・１節：現在につながる社会の形成 ・２節：第一次世界大戦がもたらしたもの	●世界史学習の意義に気づき、歴史への関心が高まった ●19 世紀後期～20 世紀前半の農業から工業への社会の変化と大衆社会の成立を理解できた ●第一次世界大戦の原因が三国同盟と三国協商の対立であることを理解できた ●第一次世界大戦が総力戦であることを考えたか。	取組　ＡＢＣＤ 理解　ＡＢＣＤ 関心　ＡＢＣＤ
２学期中間 まで (14 時間)	・３節：民族自決を求めて ・４節：経済危機から第二次世界大戦へ	●帝国主義に対する民族自決と独立の気運について共感を持った ●世界恐慌について理解し、日本への影響を学べたか。 ●連合国側と枢軸国側の対立の理由が理解できた ●世界平和の実現に向けて考えるようになった	取組　ＡＢＣＤ 理解　ＡＢＣＤ 関心　ＡＢＣＤ
２学期期末 まで (13 時間)	（２章）冷戦から地球社会へ ・１節：冷たい戦争の時代 ・２節：冷戦終結への道のり	●米ソの冷戦と日本の動向が理解できた ●インド・東南アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立について理解できた ●冷戦終結後の新たな対立・紛争について危機感を持つようになった	取組　ＡＢＣＤ 理解　ＡＢＣＤ 関心　ＡＢＣＤ
３学期末 まで (12 時間)	・３節：地球社会の歩み ・４節：持続可能な社会	●地域紛争の頻発，地球規模の環境や資源・エネルギー問題などについて、その解決策を考えるようになった ●持続可能な社会の実現をめざす当事者意識が芽生えた	取組　ＡＢＣＤ 理解　ＡＢＣＤ 関心　ＡＢＣＤ

使用教材 参考図書	【教科書】明解　世界史Ａ（帝国書院）
学習方法	①授業を受ける前に「教科書」をしっかり読んでおくこと。 ②わからない文章や言葉があれば、「しるし」をつけ、できるだけ調べておくこと。 ③教科書を読んで、「なぜ？」「どうして？」と思ったことを記録しておくこと。 ④わからなかったことや疑問に思っていたことの解決を目指して授業に参加すること。
評価方法	①毎時間の「授業に取り組む態度」を成績に入れます。 ②単元ごとに行う「小テスト」の結果を成績に入れます。 ③必要に応じて「レポート」を提出してもらい、内容に応じて成績に入れます。 ④毎学期の「定期考査」の結果を成績に入れます。